

NPO 法人アサヒキャンプ名古屋 活動紹介



・アサヒキャンプとは

学生が主体となって子どもの挑戦を応援する団体。

障害のある子どもとともにキャンプをして、普段経験することのできない学びを得ることができる団体です。

子どもとその保護者と、学び、育ちあう団体

・参加してくれる子どもたち

→発達障害のある子ない子

→小学2年生から中学3年生

→素直で優しい心を持っている子

・アサヒキャンプの良さ

- ① 教員採用試験で役に立つ！
- ② バイト・サークルと両立ができる！
- ③ 金銭的負担が少ない！
- ④ 特別支援の実践経験を積める！

・年間スケジュール

5月、6月

・トレーニングキャンプ→山でのキャンプ

8月

・夏いろキャンプ →山でのキャンプ

・夏の川のほとりキャンプ→施設でのキャンプ

10月～2月

・ひだまりキャンプ→施設でのキャンプ

3月、4月、5月

・春の川のほとりキャンプ→施設でのキャンプ

実は他にも、

・楽習会→子どもと一緒に楽しく学習するよ！

・マイスペース→子どもとマンツーマンで遊ぶよ！

・アサヒキャンプの学生たち

大学での専攻は心理、教育、保育、福祉を学ぶ学生が8割です。毎年4月に大学1、2年生を対象に募集、総勢約40人。行事ごとに役割を決め、事前事後に学生全体で情報を共有しながら活動しています。

多くの経験を積んだ先輩が後輩を支援、安全かつ楽しい行事運営を行いながら、子どもとの関わりを通じて様々なことを学ぶことができます。

・大学生の進路

教員、臨床心理士、医療、保育、福祉、一般企業など。子どもたちと接する機会、保護者とお話する機会が多く、子どもと楽しい時間を過ごし、組織の中で役割を担当した経験は、就職活動の面接で大いに役立ち、第一希望の仕事につきやすくなると多くの先輩たちは話しています。

・学生・OBの声【 】内は2024年4月現在

★アサヒキャンプは私にとってかけがえのない存在です。実際の現場ではできないことが、学生主体で挑戦できます。そして、自分がやってみたいことを応援してくれる仲間もいます。学年の垣根を越えて活動できるよ！大学の新しい挑戦をアサヒキャンプでしてみませんか？君の参加を待ってるよ。【69期・大学2年】梶川真帆（栞）

★この活動は私にとって大学で学んだことを、実戦の場で試すことができるものだと思っています。アサヒで新しくできることが増えると、大学での学びに活かすこともありました。逆に大学で学んだことをアサヒで活かすこともできます。また、できることが増えると子どもたちの反

応も良いものに変化していき、非常に達成感があります。コロナの影響もあり、挑戦に踏み出せにくくなっているからこそアサヒキャンプで頑張られて充実しています。【68期・大学3年】 徳増光大（円堂）

★ここでは子どもとの関わり方はもちろん、企画力、運営力、リーダーシップ、多様性への理解力、人のために考えて行動する力など学生のうちに身に付けておくべき力が備わります。授業や実習ではわからないリアルな体験があなたを成長させてくれます。アサヒキャンプの1番の良さは自己肯定感を上げてくれるところです。それは子どもたちだけでなく、学生も同じです。人を肯定することが得意な仲間と楽しく活動し、あなたも認め合える仲間の一員になりませんか？【65期・卒業生】渡辺瑞稀（あわ雪）

・2024年3月(今春)卒業の学生の声

★チャレンジするならアサヒだね！「やってみよう！」何事もやってみて、成功、失敗どちらにも繋がる、もし失敗しても仲間が必ず助けてくれます。アサヒには頼れる人が多く、尊敬できる人がたくさんいます。そして、とにかく褒めてくれます。私にとってアサヒは自分自身の居場所になりました！きっと子どもたちもアサヒが居場所だと、感じている子がいると思います。自分のために、子どもたちのために、成長させてくれる仲間たちと、アサヒとチャレンジしてみよう！【66期・2024春卒業】伊黒綾音（あまてらす）

★障害のある子どもたちと関わる機会が多く、自分の支援や他者との関わりなどによって、成長していく子どもたちの姿を見ることが出来ます。のびのびと楽しそうに過ごしている子どもたちの姿を見ると、家や学校とは違う居場所のひとつとなっているのがアサヒキャンプだと思います。学生主体のアサヒキャンプで仲間と活動し、絆を深めることで私自身にとっても大切な居場所の一つになりました。アサヒキャン

プでの経験は自分の成長にも大きくつながります。興味のある方、ぜひ一緒に活動しましょう！！【66期・2024春卒業】平瀬叶侑子（蛭）

★アサヒキャンプの魅力は障害について学べるというより、障害に対して自分自身が興味を持つようになる。そこにプラスとして自分なりの関わり方だとか褒め方、注意の仕方などを4年間通してゆっくりと考えることができるころだと思えます。また、この団体は一泊二日や二泊三日のキャンプがあり大変なことも多いですが、友達がいるから笑えるし、大変さも共有すれば軽くなります。気楽にボランティアしましょう。【66期・2024春卒業】宮下桂太郎（わさび）

アサヒキャンプは、私の大学生活を充実させてくれました。子どもと関わる機会の多さはもちろん、自分たちで行事を企画、運営することが出来るため、思考力や柔軟性、リーダーシップのスキルを身につけられる場所です。そして素敵な仲間と出会うことが出来ます。多くの挑戦する場と支えあえる仲間がいる環境で、楽しみながら成長できるって素晴らしい不是吗？一歩踏み入れてみたら世界が広がりますよ。

【66期・2024春卒業】鷲野祐奈（くれよん）

アサヒキャンプの魅力は大学で学んだ知識を実際に発達障害のある子たちと関わることを通して実践できることだと思います。私自身、アサヒキャンプの活動を通して子どもたち一人ひとりどのような対応、支援、関わり方が良いのか学ぶことが出来ました。時には子どもたちとの関わり方に戸惑うこともありましたが、先輩方や同期から意見やアドバイスをいただき、それを実行することで新たな発見や感動に結びつくことも多かったです。アサヒキャンプ最高です！皆さんもぜひ！【66期・2024春卒業】下條幸樹（ツナ兄）

★大学に入学し、なにか新しいことに挑戦したいと思っていた時に出会ったのがアサヒキャンプでした。初めは子ども



と関わる楽しさで活動してましたが、経験を積み重ねていくうちに、子どもたち一人ひとりの成長に携われることに、喜びを感じるようになりました。自分自身の考えや行動が、誰かの輝きにつながっていくことをアサヒキャンプの活動の中で実感できます。ぜひ素敵な仲間たちと一緒に充実した4年間を過ごしませんか？【66期・2024春卒業】井谷瑞（すみっコ）

★私のアサヒキャンプに所属していてよかったなと思うところは大きく二つあります。一つ目は、新たな価値観をいくつも得ることができたこと。発達障害をもつ子どもや他大学の学生と日常的に関わるなかで、毎日新たな発見&自分がどれほど狭い世界に生きていたのかということは何度も実感してきました。二つ目は、自分の長所、短所を見つけられたこと。学生が主体となって行事の企画、運営を行っていきなかで、この組織の中で自分には何が発揮できるのか、どんなことを周りの人に助けてもらうべきなのか、より明確になりました。所属していてよかったなと思うポイントはまだまだ

他にもあります！みなさん、ぜひ体感しにきてね！【66期・2024春卒業】黒岩美佑（テナ）

私はこのボランティアを通して、かけがえのない友を見つけることができました。ひとつのキャンプで子ども達に何が出来たのか皆で考え、よりよくしようと話し合い、切磋琢磨をしてきました。時にはぶつかったり、意見が合わなかったりすることもありましたが、それら全てを含めて、本当に信頼できる関係になれたと思います。また、同期だけでなく、先輩や後輩とも共に協力し合える深い繋がりもできました。子ども達のよりよいキャンプを仲間と協力してつくり、大学生活を彩りたい方は是非！【66期・卒業生】大嶽良真（ジャクソン）

★ここの魅力は子どもと接する機会が多いところです。「この子のためにはどのような手立てをすれば良いのか」と思考をして、何度も実践を繰り返して行えます。そのため、授業とは別に知識を得ることができ、自己の成長に繋がりました。また、イベントは全て学生主体で企画・運営をします。子どもとの関わり方だけでなく、企画力、運営力、リーダーシップについても学ぶことができ、たくさんの仲間ができます。少しでも興味があったら説明だけでぜひ聞きに来てください！【66期・2024春卒業】堀田翔偉（らんたろう）

★アサヒキャンプでは、年間を通して子どもたちと関わる行事がたくさんあります。行事を行う中で、子ども一人ひとりに合った声かけや支援を考え、試していくことが、子どもたちの成長に繋がっていきます。そして、子どもたちの成長を間近で実感できるころがこのボランティアの魅力だと思います。「多様な子どもたちと関わってみたい！」「発達障害についての理解を深めたい！」という方は是非アサヒキャンプに来てください！貴重な経験ができます！【66期・2024春卒業】甲斐斗晶（100%）